

# I 令和4年度企業局予算の編成方針

## 1 企業局の現状

山口県企業局は、水資源を開発して有効に利用することにより、県産業の発展と県民の福祉の増進を図るため、12の水力発電所及び15の工業用水道を設置し、電気事業及び工業用水道事業を行っています。

企業局は、地方公営企業としての「公共性」と「経済性」を最大限に発揮するという基本原則の下、経営の健全化・効率化の取組を推進し、今後ともその役割を確実に果たしていくことが期待されています。

このため、電気事業では、クリーンで環境にやさしい水力発電による電力を安定的・持続的に供給するとともに、電力システム改革など経営環境の変化に的確に対応し、長期安定経営の確保を図る必要があります。

また、工業用水道事業では、工業用水道施設の強靱化の取組や水資源・濁水対策の実施により、工業用水を安定的に供給するとともに、適正な収入の確保や新規需要開拓等に取り組み、安定した経営基盤を維持していくことが必要です。

## 2 山口県企業局第4次経営計画の着実な推進

企業局では、2019年3月に「山口県企業局第4次経営計画(2019～2028年度)」を策定するとともに、電気事業及び工業用水道事業の「施設整備10か年計画」を改定し、「安定供給体制の強化」、「安定経営の確保」、「組織力の向上」、「地域・環境への貢献」の4つの経営の基本方針に基づき、計画的かつ効率的で透明性の高い企業経営を進めています。

計画は、毎年度進捗状況を評価し、その達成度に応じて、次年度以降の実施に反映させるマネジメント・サイクルを活用した進行管理を行い、計画の着実な推進に努めています。

## 3 令和4年度予算編成の基本方針

令和4年度予算は、「第4次経営計画」に掲げる4つの経営の基本方針を柱に、施設の強靱化対策や計画的な更新、安定収入確保による経営基盤の強化など、電気及び工業用水道事業が抱える課題の解決に向け重点的かつ効果的に施策を推進します。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢の変化を踏まえ、デジタル化の推進に引き続き取り組むとともに、脱炭素社会の実現の動向に呼応して、再生可能エネルギーの利用拡大に向けた取組を進め、企業局の使命である水力発電によるクリーンエネルギーと良質な工業用水の安定的供給を確保します。

